

海外情報

No.19

調査者	宇野 勲
情報ソースの刊行日	2020年5月4日
情報ソースの調査日	2020年5月6日
日本理学療法士学会 HP に公開された日	2020年5月8日
日本語タイトル	COVID-19 とアジアの高齢者。AWGS の行動喚起
情報ソース	Geriatrics & Gerontology International
情報のカテゴリー	レビュー論文
発信地域	シンガポール
DOI	10.1111/ggi.13939
URL	https://onlinelibrary.wiley.com/doi/abs/10.1111/ggi.13939
要約	<p>アジアのサルコペニアワーキンググループ (AWGS) が、アジア各国の COVID-19 に関する現状をまとめている。</p> <p>また、「COVID-IAGG-AO」というガイドンスも紹介されている。</p> <p>C：うたた寝する（十分な睡眠を取る）。</p> <p>O：楽観的（うつを防ぐ）。</p> <p>V：活力（屋内で運動をする）。</p> <p>I：食事摂取（適切な栄養と口腔衛生を保つ）。</p> <p>D：距離を取る。</p> <p>I：家族や友人と通信技術を用いて、社会的支援・接触を増やす。</p> <p>A：定期的に薬剤を使用する。</p> <p>G：朝に十分な日光を浴びる。</p> <p>G：息切れ、胸痛、持続する熱、食事量減少、常に疲労している場合または起きない、意思疎通ができない場合は救急に連絡する。</p> <p>A：消毒液または石鹸で手を洗う。</p> <p>O：食べ物、医薬品はオンラインで購入する。</p>
最も注目するポイント 理学療法にどのように役立つか？	<p>高齢者では、感染リスクだけでなく、隔離措置による健康被害リスクも高いです。</p> <p>理学療法士は感染予防を徹底した上で、高齢者の健康被害リスクを軽減できるように努めることが大切だと思います。</p>